

## 新型コロナ感染拡大防止 早期集中対策(令和3年7月30日)

- 本日は、7月31日からの集中対策についてご説明します

### スライド 2

- まず、先日もお伝えしましたが、過去のデータを踏まえ、対応の迅速化と警戒感の共有を図るための段階ごとの指標と その対応策をお示してきました。

### スライド 3

- 7月17日に警戒段階になったことを踏まえ、病床についても早期に、十分量を確保すべく対応しています。
- 具体的には、前回の感染拡大初期において、現在と同水準の時期に確保していた病床のおよそ1.8倍の病床を今回すでに確保しています。感染をこれ以上拡大させないことが重要ですが、万が一への備えも進めています。

### スライド 4

- 警戒段階の次の、行動制限実施の段階の考え方ですが、公表日時点と実際の感染状況には差があります。過去の感染状況を確認すると、公表日を基準日とした、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数が、行動制限実施の目安としている10人でも、現在進行形の感染状況はステージⅣ目安値相当となっています。
- 現在公表されている感染状況は、9日程度前の本県の感染状況を示しているというものです。そのため、早いタイミングで、集中対策を実施する必要があるということをお伝えしました。

### スライド 5

- 具体的には、実際の感染状況が20人程度、それは公表日を基準日とした感染状況では10人となるため、公表日ベースの10人を目安として集中対策を開始するとお伝えしました。
- さらに、県全体の直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数が15人程度になる日から、感染状況を考慮した上で営業時間短縮要請等の強い措置を実施することも併せてお伝えしました。

### スライド 6

- こちらは、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数の推移です。
- 7月21日には県警戒基準値の4人を超え、上昇傾向となっています。そして、本日の速報値を加えると行動制限実施の目安である 直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数10人となりました。

### スライド 7

- 問題は、この上昇傾向が続くかということです。こちらは、他府県の直近1週間の人口10万

人あたりの新規報告者数の推移です。直近では、東京都や大阪府などいずれの他府県も上昇傾向が続いています。

#### スライド 8

- 直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数が10人を超えていることや他府県の上昇傾向が続いていることを踏まえ、広島県でも、感染拡大が続くと判断しました。
- そのため、集中対策を実施します。
- 県警戒基準値を安定的に下回ることを念頭に対策期間を7月31日から9月12日とします。

#### スライド 9

- 早期対策で期待する効果として、対策期間の短縮と、総感染者数の減少を期待しています。
- 1つ目の効果である対策期間を短縮することによって、県民のみなさまに行動制限をお願いする期間をできるだけ短くし、少しでも早く日常を取り戻していきたいと考えています。また、経営環境が悪化している中で、時短要請などに、御協力いただいている事業者のみなさまへの要請期間も、少しでも短くしていきたいと考えています。さらに、県の対策費用を抑制できると考えています。
- 2つ目は、その波の総感染者数を減少することによって、重症化する方も、少しでも減らしたいと考えています。また、1年以上、新型コロナの業務に携わっている医療従事者など、すべての方々のご負担を少しでも軽減したいと考えています。さらに、一般医療への負荷を軽減することで、県民のみなさまが適切な医療を受けられる体制を維持したいと考えています。

#### スライド 10

- こちらは前回の実績と、それを基に早期のタイミングで対策を実施した場合のシミュレーションです。対策開始のタイミングとしては、11日早くなりますが、県警戒基準値を下回るのが23日早くなり、全体として、対策期間短縮が可能と考えています。一方、これは、県民、事業者のみなさまにご協力いただけることが前提となっています。
- 後ほどご説明する要請などについてご協力をお願いします。

#### スライド 11

- こちらは、5月の夜間の人流の推移と、感染状況の推移を示したものになりますが、集中対策により営業時間の短縮要請を開始した直後から夜間の人流が抑制され、緊急事態宣言により、さらに抑制が進みました。その結果、対策実施後しばらくしてから、感染者数の発生も減少を始めました。
- このように、営業者の皆様の協力により、夜間の人流抑制が実現し、結果として感染を減少局面に導くことができました。

○ このため、夜間の人流抑制に向けて、感染状況が悪化している市町を集中対策重点区域とし、お酒を提供する飲食店へ時短営業を要請します。

#### スライド 12

- こちらは直近2週間の市町別感染者数です。
- 感染者の割合が多い順に、広島市、福山市、三原市、尾道市、廿日市市となっています。

#### スライド 13

- こちらは、市町別、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数です。先ほどの直近2週間の感染者数が多い順に、広島市で約11人、福山市で約8人、三原市で約59人、尾道市で約14人、廿日市市で約9人となっています。
- 人口が一定規模以上あり、感染状況が悪化しているのは広島市、福山市、三原市、尾道市、廿日市市と考えています。

#### スライド 14

- 先ほどの5市について、直近の感染状況の推移を確認しました。そうすると、広島市、廿日市市、三原市は上昇傾向、福山市、尾道市は横ばいであることがわかりました。
- 県としては、上昇傾向である広島市、廿日市市、三原市を、集中対策重点区域とします。
- 福山市、尾道市については、今後の傾向を見ていきたいと考えています。

#### スライド 15

- これまで 昼間の人出の抑制とともに、夜間の人出を大幅に抑えることで感染状況が改善してきたことから、重点区域とする広島市、廿日市市、三原市のお酒を提供する飲食店へ時短営業を要請します。

#### スライド 16

- 要請の内容は、5時から20時までの営業時間短縮とそのうち、お酒の提供時間は19時までとします。また、飲食を主としている店舗において、カラオケ設備の提供は自粛することを要請します。金額や要件はご覧の通りです。
- 第4期では、新たに、早期給付(先払い)を実施することとし、要請期間終了前の8月10日から申請を受けつけ、定額25万円を支給します。

#### スライド 17

- 今回は、第3者認証制度の運用が始まっています。本県では「広島積極ガード店ゴールド」と名付けています。
- 飲食店の皆様にはぜひ積極的な認証取得を行っていただきたいと考えています。この先、広島県が、まん延防止等重点区域に指定されるといった場合には酒類提供について、感染状況に応じて一部制限を緩和するときの要件になる可能性があります。

○ 現在、認証において実施すべき対策をチェックシートに整理し、各飲食店にお送りしていますので、早めにご活用いただきたいと思います。

#### スライド 18

○ また、「頑張る中小事業者月次支援金」を7月に引き続き、8月・9月も実施することとし、飲食店の休業・営業時間短縮や外出自粛等の影響を受け、売上が30%以上減少した県内中小事業者に対する、県独自の支援を実施いたします。

#### スライド 19

○ 続いて、人が集まる施設への使用制限ですが、3市の施設に20時までの営業時間短縮を働きかけます。

#### スライド 20

○ 続いて、イベント等についてです。8月4日からは、ご覧の内容を要件とします。人数上限は、5,000人を上限にします。併せて、21時までの時短営業の働きかけを行います。

#### スライド 21

○ 県民の皆さんへの要請です。

○ 全県で、生活に必要な買い物を含めて外出を半分にしてください。重点区域の3市では、20時以降の外出をしないでください。

#### スライド 22

○ さらに、同居家族以外と食事やお茶をするときは、物理的対策をしている店を選んでください。家での食事会や、外でバーベキューをする時などもお店と同様に物理的な感染対策を徹底して下さい。そして、違和感を感じたら、すぐに医療機関で受診して下さい。

#### スライド 23

○ 事業者の皆様へは、全県で出勤者7割削減を、重点区域3市では、20時以降の勤務を抑制してください。ただ、社会機能の維持に従事されている方は除きます。

#### スライド 24

○ 首都圏や関西圏をはじめとして、感染者が急増しています。

○ 今からは特に人の行き来が増えるシーズンです。ここで拡大地域からの流入が増えると、減少までの期間を長引かせるだけでなく さらに拡大させる原因になりかねません。

○ そのため、繰り返しお伝えしているように、夏休み・お盆休みは拡大地域に行かないでください、ご家族を呼ばないでください。

○ 特に大学生や社会人の方は、お盆に同窓会やクラブのOB会などを企画されているかもしれませんが、みんなが行くなら、と感染拡大地域から多くの方が帰ってくると感染爆発が起きてしまう可能性があります。この夏はそうした集まりはオンラインにしてください。

#### スライド 25

○ それでも、事情があって広島県に来られる人には、帰省予定者向けの事前PCR検査を勧めてください。概要やフローはご覧のとおりです。このほか、駅や空港、サービスエリアでの帰省者向け検査もあります。

○ 詳細は、県ホームページに掲載していますので、ご家族やご友人に勧めていただくようお願いします。

#### スライド 26

○ 夏休み期間が終わっても、県をまたぐ移動についてはご覧の内容で要請を継続します。特に、重点区域3市との往来について、通勤・通学・通院を除き、最大限自粛してください。

#### スライド 27

○ 先日、行動制限を終えたばかりの中で、再びの行動制限は本当に避けたかったことですが、残念ながら、その段階に至ってしまいました。

○ そんな中で、皆様が、フラストレーションや疲れがありながらもずっと対策に取り組んでいただいていることは十分理解しています。

○ 行政も、病床の増強や積極的疫学調査や帰省者向けの検査強化で 一日でも早く抑え込めるよう、手を尽くしています。しかし、早期対策により、感染者数を低く抑え、行動制限を早く終わらせるためには、行政だけでなく、県民の皆様とともに、全員で取り組まないと効果は発揮しません。

○ 外出の半減、出勤者7割減による昼間の人出削減と事業者の皆様の協力による時短営業と夜間の人手の削減に、みんなで徹底して取り組みましょう。私からは以上です。